

平成24年度 丹後広域振興局 運営目標(概要)

1 産業振興による丹後地域の活性化		ページ
<「日本海観光プロジェクト」の推進等による国際競争力のある魅力ある観光地づくり> (観光入込客数600万人 宿泊者数110万人)		
観光地間競争に勝ち抜くために京都府丹後観光圏の「観光地づくりプラットフォーム」の強化とともに、丹後広域観光キャンペーン協議会が広域的なプラットフォーム機能を担い、オール丹後体制で魅力ある観光地づくりを進めます。		
外国人観光客を丹後地域に誘導するため、丹後地域まで運行する高速バスによるオプションツアーを実施します。		
北近畿タンゴ鉄道やバス事業者等公共交通機関のほか海上交通など、二次交通を組み合わせたバラエティーに富んだ広域周遊型旅行商品や、京都舞鶴港のクルーズ誘致とも連動した丹後地域を周遊する舞鶴発着プランを造成します。(広域周遊型旅行商品の開発 10商品、着地型旅行商品の参加者 2,000人)	1	
平成26年の丹後国建国1300年や細川ガラシャ生誕450年にちなみ、細川ガラシャや細川家にまつわるスポットめぐりなどをテーマとした観光誘客を図ります。		
国内誘客最大のマーケットである首都圏にターゲットを絞り、戦略的な情報発信を行います。(120回)		
インバウンドを推進するため、京都府観光連盟等と連携して実践型の受入体制の整備を進めます。(外国語会話のできる人材確保支援等)	2	
<「丹後・食の王国プロジェクト」の推進により食関連産業を新たな成長産業として育成> (ブランド京野菜等の出荷額3.8億円、丹後産コシヒカリ特A評価連続取得等)		
丹後ブランド商品の生産拡大 (丹後とり貝の販売額120百万円(府全体)、養殖イワガキの販売額18百万円(府全体)、「丹後ぐじ」の生産拡大 出荷量10トン) (みず菜、九条ねぎなどブランド京野菜等の出荷額の増(年間出荷額 3.8億円)など)	3	
良食味生産技術の普及による丹後産コシヒカリの特A評価を連続取得し、通算10回を達成します。 (良食味共励会の出品者数 100以上)		
食関連ビジネスの拡大のため食品関連企業の参入を支援(1件以上)		
丹後ビジネス支援会議(仮称)を設立し、多様な取引先とのビジネスを推進します。 (地元企業等が販路開拓するための大商談会を開催 丹後地域からの出展30団体、商談成立10件)		
丹後あじわいの郷にビジネスサロンを設置し、異業種交流(観環農商工連携)や6次産業化など農業経営の多角化を支援します。(異業種交流の取組(10連携体)、経営の多角化に取組む農業法人等(4経営体))	4	
食関連の人材育成のため、府立海洋高校生が丹後の食材を活用した料理目メニューを提供する「高校生レストラン」の開設を支援します。		
丹後の魅力ある「食」と連携し、高速道路のサービスエリアや由良川パーキングエリアにおいて観光PRを実施します。 (NEXCOと連携して、京都「丹後・食の王国」フェアをサービスエリアで実施 3カ所・2シーズン)		
丹後地域の幅広い事業者との連携により京都「丹後・食の王国」マルシェを開催し、丹後あじわいの郷を「食」と「観光」が効果的に融合する拠点として機能強化 (年間来園者数 12万人)	5	
<「食」を支える基盤づくり> (新規就農者30名、漁業就業者35名確保等)		
新規就農者を育成するため農業法人の担い手インキュベーション機能強化の支援など、担い手の確保育成等を支援します。	6	
地域ぐるみで取り組む防除対策支援により、野生鳥獣の被害を26年度に半減(H21年:198百万円比)します。	7	
<ものづくり産業等地域産業の新分野進出と後継者育成を強化> (新規求人者7,000人)		
府や市町、労使が参画する「地域雇用創出活力会議」を設置して、オール丹後体制でソーシャルビジネスによる新たな雇用創出や丹後地域の実情に即した戦略的な雇用創出事業を展開します。	8	
「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効な活用を促進します。 (丹後機業の後継者を10人以上育成、高度機械加工技術者を20人以上養成し試作開発を支援)	9	
丹後織物のブランド力の向上とビジネスモデルの推進を支援します。 (新規企業3機業を含めた33機業以上で、丹後オリジナルの和・洋装素材による新商品開発を実施)		

2	ポスト国民文化祭や世界文化遺産登録等に向けた取組を通じた地域文化の発信	
	<p>散策ルートの設定やジオサイトの案内看板整備をはじめ、関係機関との連携のもと、環境教育旅行の誘致やKTRを活用した観光ツアーなど、ジオパークへの誘客を推進します。(ジオパークへの誘客 200万人)</p>	10
	<p>天橋立の世界文化遺産をめざした取組と阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善を推進します。</p>	
	<p>世界遺産条約締結40周年記念会議等の機会を活用した積極的なPR活動の展開します。</p>	
	<p>市町や各種団体が行う伝統行事や文化関連イベント等をポスト国文祭関連事業と位置付け、「丹後文化絵巻」として一体的に広報するなど開催を支援(関連イベントの総参加者:30,000人)</p>	11
3	府民が共にいきいきと安心して暮らせるまちづくり	
	<地域力の強化を図り、地域に不可欠な公共交通ネットワークを確保>	
	<p>地域住民や市町村等の地域のまちづくり提案の実現を図るため、まちの仕事人によるコーディネートや地域主導型公共事業、事業協定型事業等を活用し、府民協働によるまちづくりを推進します。(事業地域 5地域)</p>	11
	<p>里力再生計画を策定し、生活環境基盤の整備や地域特産物の開発などの取り組みを行う地区を支援します。(14地区)</p>	12
	<p>里力再生計画の実現に向けた活動や、人と資源を最大限に活用した「一村一業活動」を目指す京都村の取り組みを支援します。(2地区)</p>	
	<p>市町や関係機関と連携した地域住民の活動支援等により、KTR年間利用者数210万人を確保します。</p>	
	<地域の安心を守る医療提供体制の充実>	
	<p>丹後医療圏における一層の医療の充実と、丹後の基幹病院である京都府立与謝の海病院の機能の充実を図るため、平成25年4月に京都府立医科大学附属病院として開設します。</p>	13
	<p>がんの予防と早期発見・早期治療を進めるために、市町が実施する胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん検診の受診率50%を目標に、受診率の低い市町の受診率を30%以上に向上させます。</p>	14
	<京都市域地域包括ケア体制の整備等による誰もがいきいきと暮らせるまちづくり>	
	<p>在宅で安心して生活するためのサービスを一体的に提供できるよう、地域包括支援センターの事業、活動を支援します。</p>	15
	<p>介護保険サービス提供基盤の整備を支援します。(特養2箇所、市町村が整備する地域密着型介護施設の整備支援3箇所)</p>	
	<p>丹後管内自殺対策連絡会を拡大、各市町、関係機関と連携したオール丹後の体制で管内での自殺者数を昨年より減少させます。</p>	
	<p>消費者被害の未然防止や早期解決、困難な相談事例にも迅速に対応します。 (「消費者あんしんチーム」による相談事例検討会の開催 24回)</p>	16
	<災害に強い安心安全のまちづくり>	
	<p>管内市町の地域防災計画の見直しを積極的に支援し、大規模災害時等の迅速な対応力を向上させます。</p>	17
	<p>近年浸水被害が頻発している河川の改修や土砂災害対策を推進します。 (岩屋川・加悦奥川・小西川など、11箇所の砂防事業の推進ほか)</p>	
	<p>簡易型改修の管内全市町での制度化を推進し、府・市町が緊密な連携をとり、診断済家屋に対して、個別に新制度について周知するなど、木造住宅耐震改修(補助)の促進を図ります。(50戸)</p>	

運営目標数	42
うち数値目標	37